

手賀沼流域

協働調査結果(令和5年度)

手賀沼流域の各河川調査地点で、令和5年度に実施した春季(6~7月)・冬季(12月)のバックテストによるCOD濃度調査結果の平均値をまとめました。
 ※1 全34地点(No.17は欠番)
 ※2 バックテスト®は、(株)共立理化学研究所の登録商標です。

【参加団体】

我孫子市消費者の会、我孫子の文化を守る会、我孫子野鳥を守る会、印西市環境推進市民会議、エコライフあびこ、大津川をきれいにする会、大堀川の水辺をきれいにする会、岡発戸・都部の谷津を愛する会、柏市環境保全協議会、鎌ヶ谷・大津川を清流にする会、亀成川を愛する会、神崎川を守るしろい八幡溜の会、せつげんの街
 ※五十音順
 柏市、我孫子市、印西市、流山市、鎌ヶ谷市、白井市、千葉県(事務局:環境生活部水質保全課)

河川

【大堀川流域】
COD濃度の平均値が
5.7mg/Lを示した。

【湖北集水路流域】
COD濃度の平均値が
7.3mg/Lを示した。

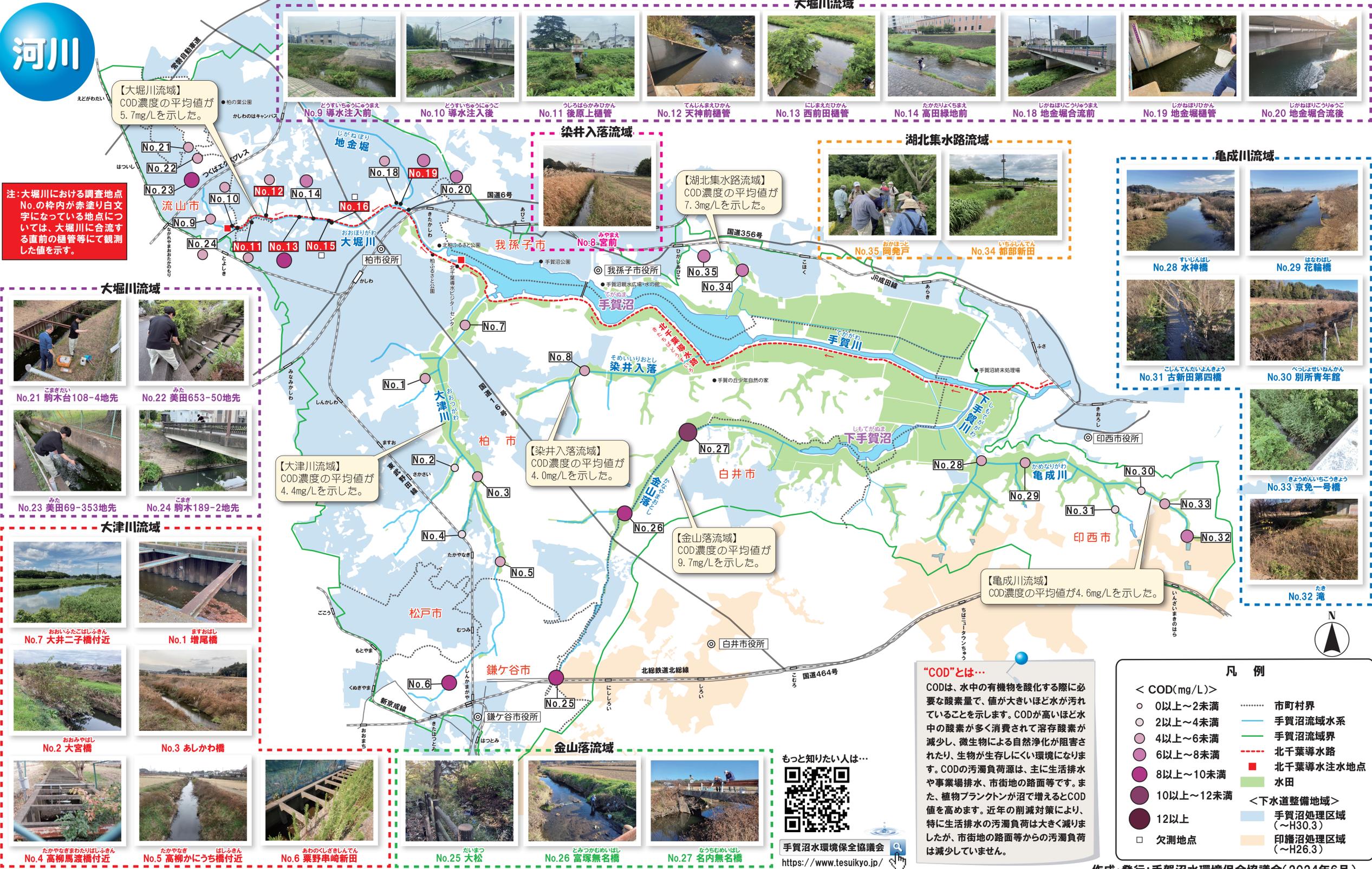
【大津川流域】
COD濃度の平均値が
4.4mg/Lを示した。

【染井入落流域】
COD濃度の平均値が
4.0mg/Lを示した。

【金山落流域】
COD濃度の平均値が
9.7mg/Lを示した。

【亀成川流域】
COD濃度の平均値が
4.6mg/Lを示した。

注:大堀川における調査地点No.の枠内が赤字白文字になっている地点については、大堀川に合流する直前の樋管等にて観測した値を示す。



“COD”とは…
 CODは、水中の有機物を酸化するために必要な酸素量で、値が大きいほど水が汚れていることを示します。CODが高いほど水中の酸素が多く消費されて溶存酸素が減少し、微生物による自然浄化が阻害されたり、生物が生存しにくい環境になります。CODの汚濁負荷源は、主に生活排水や事業場排水、市街地の路面等です。また、植物プランクトンが沼で増えるとCOD値を高めます。近年の削減対策により、特に生活排水の汚濁負荷は大きく減りましたが、市街地の路面等からの汚濁負荷は減少していません。

もっと知りたい人は…

 手賀沼水環境保全協議会
<https://www.tesugiko.jp/>

凡例

< COD(mg/L)>	市町村界
○ 0以上~2未満	手賀沼流域水系
○ 2以上~4未満	手賀沼流域界
○ 4以上~6未満	北千葉導水路
○ 6以上~8未満	北千葉導水注水地点
○ 8以上~10未満	水田
○ 10以上~12未満	<下水道整備地域>
○ 12以上	手賀沼処理区域 (~H30.3)
□ 欠測地点	印旛沼処理区域 (~H26.3)